

第3回中央こども園病児・病後児保育センター
指定管理者選考委員会議事録（概要）

- 1 日時 令和3年11月4日（金） 14:45～16:10
- 2 場所 横須賀市役所 はぐくみかん 5階第4会議室
- 3 出席者 臺委員（委員長）、渡部委員、岸委員、小澤委員
欠席者 三宅委員
- 4 事務局 幼保児童施設課 角津係長、春名主任、市原主任
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事趣旨
 - (1) 不開示情報に関する意見交換（非公開）
 - (2) 提案内容に関する意見交換
 - (3) 採点及び採点結果集計
 - (4) 指定管理者候補の選定
- 7 議事内容
 - (1) 第3回中央こども園病児・病後児保育センター指定管理者選考委員会開会
 - (2) 事務局からの連絡事項
 - ・本日1名委員が欠席したが、指定管理者等選考委員会等条例第4条の規定により、本委員会が成立している旨の報告
 - ・傍聴者なしの報告
 - ・委員紹介
 - ・事務局紹介
 - ・配布資料の確認
 - ・進行方法等の説明
 - (3) 意見交換
 - 法令順守について
 - ・他都市で保育事業所を運営しているため、関係法令・条例順守の点については同じように守っていただければよいと思う。個人情報については、内容別に色分けして目で見分けるように職員みんなで注意する方法をとっていることから、意識して行っている姿勢が見え問題ないと思われる。
 - ・個人情報の取り扱いについて、細かく丁寧に書かれているので、問題のある点はみられない。
 - ・文章保管のルールを作成し具体的に定めているため、問題ないと思われる。
 - 施設管理について
 - ・人員配置について、病児・病後児の利用者数ごとに職員を何人配置するかパターン化

して記載されていることから、事業を行う場面を想定し実際のシミュレーションをしている様子うかがえる。

- ・人員配置において、利用者が病児1人、病後児0人の場合職員配置が「看護師等1名以上」と記載されているが、看護師1人でよいと読み取れる。実際看護師1人の配置だけではリスクが高いのではないか。

- ・病児は1対1の対応が必要で目が離せないことから、緊急時などを考えると、看護師1人では病児・病後児を預かる環境としては問題があるのではないか。

○利用者への配慮について

- ・今までの保育実績を基にしていることから、「声ポスト」の設置や利用者満足度のアンケートをWEB等により実施していく内容が含まれており、しっかりとした対応が書かれていると思う。

- ・どの程度利用者が見込まれるかは分からないが、利用者への公正公平な対応や利用者の人権への配慮については立派な内容となっている。このような対応がこの人員配置でできるのか、初めて会う利用者とのコミュニケーションをとり1対1で対応するので、色々難しい面があると思うが、取り組みの目標としては素晴らしい内容となっている。

- ・開設当初は慣れるまで色々なことがあると思うので、市役所も近くにあることから、困ったときは市役所に相談して安心安全に行ってもらいたい。

○リスクへの対応について

- ・急変時の対応について、現場の看護師が判断すると思うが、看護師が判断できない場合、すぐに医師へ相談できる体制が整っているのか。管理者の施設長も常駐でなく市外の本社にいるため緊急時の対応が心配である。利用者が安心安全に利用できることが一番大事なところ。

- ・緊急時の対応マニュアルのようなものが添付されているが、これは保育園向けの内容であると思える。病児でもこの内容で対応可能なのか。看護師1人しか施設にいない場合、この人員で緊急時どのように動くのか、緊急時のフローや医師との連携について、もう少しかみ砕いた内容が知りたい。

- ・中央こども園は色々な事業所が入る施設であるため、何かあった時に協力して連携がとれるような決め事が必要ではないか。

- ・運営母体は市外で事業展開しているため、緊急時に備えて、市内の地図や防災のハザードマップ等横須賀市の状況を把握しておいてもらいたい。

○障害者及び男女共同参画への配慮について

- ・職員数人であることから、小規模の事業所に障害者雇用等を求める必要性はないのではないか。

- ・男女共同参画の面では、会社全体で女性雇用率が87.5%と高く、進んでいるように

思う。

- ・障害者雇用については今後に期待したい。
- ・正社員でなく登録した職員を派遣するような形も考えられ、固定しない働き方という見方ができ、ワークライフバランスという面からみても選択肢の一つとしてこういった働き方があってもよいのかなと思う。

○地域貢献について

- ・市内発注という面でいうと、この会社指定などといった専門性が必要なものは無いと思われるので、できるだけ市内発注していただけるよう期待したい。
- ・事務用品はネット注文が多く、センターの規模からみてもあまり発注するものはないと思われるが、備品や消耗品等についてはできる限り市内の企業に対して発注すると記載されていることから、なるべく行ってもらえるよう期待したい。
- ・市内で病児・病後児保育センターを運営してもらうことが地域貢献だと思っている。

○人員体制について

- ・研修体制について積極的に参加とあるが、保育士等への病児・病後児に特化した研修はあるのか。
- ・看護師1人の配置もあるため、この人員配置の形態でどのように研修を受けるのか、常勤でなく非常勤もいるため勤務時間内に受講できるのか、研修の参加保証の点が気になる。
- ・派遣登録した段階で研修を受講できるような体制が必要ではないか。

○保育事業について

- ・実施している小規模保育事業所や居宅訪問型保育事業は0歳から2歳児を対象としており、病児・病後児は3歳以上の子どもの利用もある点が対応として違う点である。
- ・小規模保育事業所や病児シッター以外にも色々な事業展開をしており、様々なノウハウを持っていると思われるので、その経験を生かして良いところをみせていてもらいたい。

○病児・病後児保育事業について

- ・市とコミュニケーションをとり、経験を積んでももらいたい。

○衛生管理及び感染症対策について

- ・ノロウイルス対応マニュアルも作成されており、施設内の感染症対策や職員の健康管理についての基本的な留意点が丁寧に記載されているため、問題はないと思われる。
- ・気になる点として、検便の定例実施について保育士は月1回の腸内細菌検査実施とあるが、実際にそこまで実施可能かどうか。

○施設周知・広報について

・新規の施設でもあるため市と連携をとり、ちらしやSNSを活用して、多くの人が利用できるよう周知していただきたい。

○保護者対応について

・ZOOMを使ったWEB会議の「親子をつなぐ！病児放送局」は時代にのったサービスで、新しいことを行っていくことは素晴らしいと思うが、個人情報の管理を注意してもらいたい。

・また、サービスの方に意識が行きすぎ、子どもから目が離れてしまわないよう、まず安心安全を一番に考えた対応をお願いしたい。

・午睡チェックについて、チェック表による定期的な確認や社員全員を非喫煙にしている点等安全への配慮が徹底しているところは評価したい。

○指定管理料について

・人件費について、効率的な運営は大前提であるが、サービスの質の低下とならないよう、注視していかないといけない。

・コストカットについては色々と提案されている為、市民が利用しやすいと思ってもらえるサービスを提供してもらいたい。

・病児・病後児の施設を初めて運営する事業所なので、コストカットよりもまず安心安全を担保した運営をしてもらいたい。

8 採点及び採点結果集計

出席委員4名により採点を行い、集計結果を発表した。

9 指定管理者の選定

(1) 応募団体の評価を行い全委員の総配点910点満点中620点で6割の546点を満たしており最低基準を下回る項目は無いことを報告。

(2) 「ル・アンジェ共同事業体」を指定管理者候補団体に決定

10 第3回中央こども園病院病児・病後児保育センター指定管理者選考委員会閉会